

作成・改訂年月日 2016年2月9日

## 安全データシート (SDS)

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称

製品名

ヘミングリボンシーラー

整理番号

12-23051-2

製品の種類

未加硫ゴムテープ (裏面に両面テープ付)

会社情報

会社名

メグロ化学工業株式会社

住所

茨城県古河市下大野1768

担当部署

技術部

電話番号

0280-92-1221

FAX番号

0280-92-7147

緊急連絡先

0280-92-1221

推奨用途および使用上の制限

自動車ドア、ボンネット等のヘミング部へのシール材

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

: 分類基準に該当しない

他の危険有害性

: 高温分解、燃焼時に発生する塩化水素等のガスは刺激性、腐食性を有する。  
漏出すると、海洋生物/鳥類が餌さと誤って摂取し、死亡することがあるため、  
漏出防止に配慮する必要がある。  
上記以外の危険有害性は低い。

## 3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別

: 混合物

化学名

-

成分及び含有量

|   | 成分     | CAS No.    | 濃度 (%) | PRTR対象 | 備考 |
|---|--------|------------|--------|--------|----|
| 1 | 合成ゴム   | 64754-90-1 | 50-60  | 非該当    |    |
| 2 | 充填剤    | -          | 30-40  | 非該当    |    |
| 3 | 添加剤その他 | -          | 1-5    | 非該当    |    |

## 4. 応急措置

吸入した場合

固形物につき、吸入には該当しません。

皮膚に付着した場合

ゆっくりと剥がし、その後、接触した個所を水と石鹼で洗い流して下さい。  
皮膚にかぶれ、痛みなどがある場合には医師の診断を受けて下さい。

眼に入った場合

新鮮な流水で十分に洗い流して下さい。  
コンタクトレンズを装着している場合、容易に外せる場合には、すぐに取り外すこと。  
刺激が継続するか刺激が再発する場合は医師による手当を受けて下さい。

飲み込んだ場合

嘔吐させた後、口の中を水でよくすすいで下さい。  
異常を感じるようであれば医師の診断を受けて下さい。

## 5. 火災時の措置

消火方法

下記の消火剤で消火して下さい。一般火災と同じ消火方法で行って下さい。

消火剤

水、粉末、炭酸ガス、泡 (耐アルコール)

特有の危険有害性

火災時には熱分解や不完全燃焼により、黒煙と塩化水素、一酸化炭素、二酸化炭素を含むガスが  
発生する可能性がある為、防毒マスクなどの保護具を着用して十分に注意して下さい。

消火を行う者の保護

防火服、耐熱服、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、耐熱手袋など。

## 6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項

排水溝、下水溝、河川に流出しないよう注意して下さい。  
飛散したものはかき集めて適当な容器に回収して下さい。

二次災害の防止

付近の着火源を速やかに取り除いて下さい。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

|        |   |
|--------|---|
| 取り扱い   | 指定した用途以外には使用しないで下さい。<br>落下等の乱暴な取扱いは避けて下さい。<br>傷、変形などを防止するため衝撃は避けて下さい。<br>人体には直接貼らないで下さい。<br>はさみ、カッターなどを使用する場合は、刃には十分注意して下さい。<br>換気が十分にされた場所で使用して下さい。<br>取り扱い後はよく手を洗うこと。 |
| 保管     | 常温・常湿・冷暗所に保管して下さい。<br>(極端な高温・高湿は避けて下さい。)  |
| 容器包装材料 | また、直射日光・風雨・結露・ほこり／塵などは避けて下さい。<br>通常は紙製の箱、紙袋、ポリ袋等を使用して下さい。   |

## 8. 暴露防止及び保護措置

|      |   |
|------|---|
| 管理濃度 | 設定されていない。(作業環境評価基準「労働省告示79号別表に定める管理濃度」) |
| 許容濃度 | 設定されていない。(日本産業衛生学会勧告値)                  |
| 設備対策 | 特に必要なし。                                 |
| 保護具  | 特に必要なし。カッターを使用する場合は適切な保護具を着用する。         |

## 9. 物理的及び化学的性質

|          |  |
|----------|--|
| 物理的状态    |  |
| 形状       | 柔軟性固体、ロール状テープ  |
| 色        | 白色   |
| 臭い       | ほとんど無臭   |
| PH       | 該当しない  |
| 沸点       | 情報無し   |
| 初留点と沸騰範囲 | 情報無し   |
| 融点・凝固点   | 明確な融点はない。  |
| 分解温度     | 情報無し   |
| 引火点      | 情報無し   |
| 自然発火温度   | 300℃以上で、相当時間空气中に暴露すると、燃焼することがある。<br>400℃以上の温度で発火することがある。 |
| 蒸気圧      | 情報無し。  |
| 蒸気密度     | 情報無し   |
| 比重       | 1.20～1.30  |
| 溶解性      | 水には不溶、有機溶剤には一部溶解又は膨潤。                                    |

## 10. 安定性及び反応性

|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 安定性         | 通常の取り扱いでは安定              |
| 危険有害反応可能性   | 通常の取り扱いでは安定              |
| 避けるべき条件     | 情報無し                     |
| 混触危険物       | 情報無し                     |
| 危険有害な分解性生成物 | 高温加工時は、塩化水素ガスが発生する恐れがある。 |

## 11. 有害性情報

|                 |  |
|-----------------|--|
| 混合物の有害性情報       | 情報無し   |
| 塩素化ポリエチレンの有害性情報 |  |
| 急性毒性            | ラット(経口) LD50: >5gm/kg<br>ラット(吸入) LC50: >87.5 mg/m <sup>3</sup> (30M) |
| 皮膚腐食性/刺激性       | 情報無し   |
| 目に対する重篤な損傷      | 情報無し   |
| 呼吸器感作性/皮膚感作性    | 情報無し   |
| 変異原性(生殖細胞)      | 情報無し   |
| 発がん性            | 情報無し   |
| 生殖毒性            | 情報無し   |
| 特定標的臓器毒性-単回暴露   | 情報無し   |
| 特定標的臓器毒性-反復暴露   | 情報無し   |
| 吸引性呼吸器有害性       | 情報無し   |

## 12. 環境影響情報

|                  |      |
|------------------|------|
| 混合物の環境影響情報       | 情報無し |
| 塩素化ポリエチレンの環境影響情報 | 情報無し |

## 13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として産業廃棄物処理業者に委託して処理する。  
焼却する場合は、塩化水素などの有害かつ腐食性を有するガスが発生する為、注意すること。  
また、それに対応した焼却設備を用いて焼却すること。  
海洋生物、鳥類が摂取することを防止する為、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

国連分類

該当しない

国連番号

該当しない

国内規制

消防法：指定可燃物・合成樹脂類（指定数量3000kg以上）

輸送に関連する特別の安全対策

高温多湿、直射日光を避けて下さい。

風雨、結露による水濡れに注意して下さい。

落下や引きずる等の荷扱いは避けて下さい。

## 15. 適用法令

消防法

指定可燃物・合成樹脂類（指定数量3,000kg以上）

## 16. その他の情報

合成ゴム

TSCA収載状況

収載

製品評価技術基盤機構（NITE）

メーカーMSDS等

引用文献

樹脂ペレット流出防止マニュアル/日本プラスチック工業連盟（1993年2月）

本書の内容は法規改正、新しい知見や情報入手、試験などにより改訂されることがあります。記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。全ての化学製品には、未知の危険性や有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。このMSDSには通常危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないことは保証できません。記載事項は通常取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、新たに用途/用法に適した安全策をご実施の上、お取り扱い願います。